

## 第 5 回 地域づくり部会 会議概要

|            |  |
|------------|--|
| 日 時        | 令和元年 10 月 17 日 (木) 午後 3 時 45 分～午後 4 時 15 分   |
| 会 場        | 北地区コミュニティセンター 大ホール   |
| 出席委員       | 五十嵐隆吉委員 (部会長)、澤玲子委員 (副部会長)、神田征男委員、<br>本間藤雄委員、阿部勝幸委員、山賀好郎委員、工藤真美委員、小池静夫委員<br>鶴巻ヨシ子委員、   |
| 欠席委員       | 菅原妙委員、村山和夫委員   |
| 事務局<br>関係課 | 北出張所 (川崎所長)、区民生活課 (小林補佐・長谷川主幹)<br>地域総務課 (中川補佐・佐藤)  |
| 会議要旨       | <p>1 令和 2 年度自治協議会提案事業について<br/>これまでの協議経過を踏まえて、「北区交通マップ作成事業」として、実施することが決まった。<br/>→意見等なし。</p> <p>2 令和元年度自治協議会提案事業「北区みんなで見守り隊」について<br/>事務局から進捗報告が行われた。また当日役割分担について、事務局にて案を作成し、次回 (11 月) 部会で提示することになった。<br/>→意見等なし。</p> <p>3 「北区生活交通改善プラン」の見直しについて<br/>事務局から第 1 回北区地域公共交通検討会議の実施報告があった。また、前回の部会にて、デマンド交通利用実績の提供要望があったため、事務局より同情報提供があった。なお、区バス及び住民バスの利用実績は前回全体会で報告済み。</p> <p>[主な意見等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デマンド交通の制度制定にあたっては、補助要件 (条件) が設けられると思う。葛塚地区等の市街地でも、公共交通の不便な地域があるため、同検討に際しては、柔軟な対応をお願いしたい。</li> <li>・利用実績を見ると、降車地のうち 4 割近くが豊栄病院だ。病院送迎バス等に乗車できない、身体の不自由な高齢者等が、デマンド交通を利用しているのではないか。</li> <li>・平成 29 年以降の運行改定により、利用者数自体は減少傾向にあるものの、乗合率が向上している。真に、公共交通として必要な住民が引き続き利用しているように思う。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p> |

## 第 5 回 福祉教育部会 会議概要

|         |   |
|---------|---|
| 日 時     | 令和元年 10 月 17 日 (木) 午後 3 時 40 分～午後 4 時 30 分  |
| 会 場     | 北地区コミュニティセンター 講座室 1   |
| 出 席 委 員 | 清水委員、梅津委員、平松委員、藤沢委員、中嶋委員、佐久間委員、樺山委員、小林委員 8 人  |
| 欠 席 委 員 | 神田(恭)委員、相馬委員 2 人  |
| 事 務 局   | 川崎課長 (健康福祉課)、拝野館長 (豊栄地区公民館)、佐藤教育支援センター長、高野・深沢 (地域総務課)   |
| 会 議 要 旨 | <p>○令和元年度第 2 回北区教育ミーティングでのテーマの課題(案)について<br/> 北区教育支援センター所長より説明。<br/> テーマ 「保護者、地域、学校の連携について」<br/> 日時 令和元年 12 月 19 日(木)午後 1 時 30 分～午後 3 時<br/> 場所 北地区コミュニティセンター 1 階 講座室 1<br/> 出席者 北区自治協議会福祉教育部会委員・教育委員・教育委員会事務局・学校関係者</p> <p>○令和 2 年度自治協議会提案事業について<br/> 「福祉教育部会だより」に決定。<br/> ただし、提案のままの対象者 (小学生、中学生) ではなく、「みんなで子育て学ぼうよ」の提案の対象者である、未就学児も含むこととする。</p> <p>○「大学生と協働！地域住民の健康と福祉を支えるまちづくり事業」について<br/> ・第 1 回(9 月 21 日)、第 2 回(10 月 12 日)小林委員が講師として参加。<br/> 参加者に非常に好評。令和 2 年度は区企画事業となる予定。</p> <p>○部会懇親会について<br/> ・12 月 19 日(木)部会単位で開催予定。(令和 2 年度は 5 月、3 月に全体で開催予定)。当部会は昼開催とする。詳細は後日事務局より連絡する。</p> <p>○「全てのママ・パパ応援プロジェクト」について<br/> ◎ママ・パパチーム<br/> 導入のマングに続く、ページ順番の確認。各内容の修正を行った。<br/> ◎応援団チーム<br/> 前回配布した資料を検討した。今後は佐久間チームリーダーと事務局で詳細を詰める。</p> |

## 第 5 回 自然文化部会 会議概要

|            |  |
|------------|--|
| 日 時        | 令和元年 10 月 17 日（木曜） 午後 3 時 30 分～午後 4 時 00 分   |
| 会 場        | 北地区コミュニティセンター 講座室 2  |
| 出席委員       | 阿部(美)部会長、本間(久)副部会長、赤間委員、松田委員、原委員、黒川委員、皆川委員、渡邊委員、本田委員   |
| 欠席委員       |  |
| 事務局<br>関係課 | 菊地建設課長、山際産業振興課長、高桑区民生活課長、地域総務課(本田課長補佐、高田)  |
| 会議要旨       | <p><b>1 令和 2 年度自治協議会提案事業について</b></p> <p>令和 2 年度自治協提案事業について、当部会実施事業を下記のとおり決定しました。</p> <p>〔実施事業〕 福島潟賑わい事業</p> <p>〔主な意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福島潟に関して、広く、多方面に事業を展開していきたい。</li> <li>・ これまで福島潟のラムサール条約登録に向けて、ずっと頑張ってきた。続けていくことは大事である。</li> <li>・ 福島潟について、部会として協力できることがあれば、協力していきたい。</li> <li>・ 平成 29 年度及び 30 年度の事業で、ビュー福島潟の中に展示物を設置したが、お金を払って入館した人にしか分からない。福島潟の賑わい創出のためには、市内外に向けた PR が必要である。</li> </ul> |